

R5年度 事務事業評価シート

184

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

221010204

大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
4	産業・観光	21	多様な働く場の確保		1	就業対策の充実			
実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
2	就業対策推進事業	4	「さんようおのだ就職フェア」・「山陽小野田市合同就職面接会」開催事業						政策的
事業概要	市、ハローワーク及び商工会議所が連携して、本市独自の「就職フェア」及び「就職面接会」を開催する。地元にて特化した就職説明会とすることで、地元企業の雇用確保を支援し、また、若者の地元定着を目指す。					対象	市内企業及び一般求職者		
						手段	「就職フェア」又は「就職面接会」の開催		
						意図	本市企業のPRや人材確保、求職者の市内就業を支援する。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	印刷製本費			印刷製本費			印刷製本費	41千円		印刷製本費 41千円
	手数料			手数料			手数料			手数料 30千円
	消耗品費	6千円		消耗品費	17千円		消耗品費	19千円		消耗品費 20千円
				庁用器具費	55千円					
合計		6千円			72千円			60千円		91千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	2千円	1/2	36千円	1/2	30千円	1/2	45千円	
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		4千円		36千円		30千円		46千円	
合計		6千円			72千円		60千円		91千円	
人工数 人件費	0.02人	116千円		0.04人	229千円		0.04人	233千円		
総経費		122千円			301千円			293千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	参加事業所数 (就職フェア及び面接会合計)	活動		5事業所	40事業所	30事業所	30事業所
				3事業所	10事業所	22事業所	
				60.00%	25.00%	73.30%	
2	参加者数	成果		10名	100名	100名	100名
				6名	33名	48名	
				60.00%	33.00%	48.00%	
3							

成果	大規模な就職フェアは実施せず、面接会のみ実施したため、参加事業所及び参加者数は目標に達しなかったが、参加者の中から9名の採用につながっており、一定の成果が見られた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き、面接会を開催し、特に人材不足が顕在化している分野の人材確保に努める。交通や建設等の分野については求職者も少なく、参加者が少ないが、ハローワークと連携し、周知に努める。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

185

課・局・室・所(係)

商工労働課

企業立地推進室

事務事業番号

222010103

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光		22	企業立地の推進		1	企業誘致の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	企業誘致推進事業		3	工場設置奨励金等交付事業		3－(4)			政策的
事業概要	厳しい都市間競争の中で企業誘致を進めるため、工場設置奨励条例による優遇措置(工場設置奨励金、雇用奨励金、用地取得奨励金、従業員住宅新設奨励金)を特典とし、企業誘致活動を展開する。					対象	(市内、市外)企業			
						手段	企業からの申請に基づき、奨励金を交付する			
						意図	企業誘致の推進			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	工場設置奨励金	82,948千円		工場設置奨励金	36,897千円		工場設置奨励金	28,739千円		用地取得奨励金 232,639千円
	用地取得奨励金			用地取得奨励金	167,415千円		用地取得奨励金	62,554千円		工場設置奨励金 30,015千円
	雇用奨励金	1,800千円		雇用奨励金			雇用奨励金	200千円		従業員住宅新設奨励金 951千円
	従業員住宅新設奨励金	148千円		従業員住宅新設奨励金	974千円		従業員住宅新設奨励金	1,095千円		
合計		84,896千円			205,286千円			92,588千円		263,605千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	84,896千円			205,286千円			92,588千円		263,605千円
	合計	84,896千円			205,286千円			92,588千円		263,605千円
人工数 人件費	0.20人	1,157千円		0.20人	1,147千円		0.20人	1,165千円		
総経費		86,053千円			206,433千円			93,753千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	奨励金交付件数	活動	できるだけ多く 9件 -	できるだけ多く 13件 -	できるだけ多く 12件 -	できるだけ多く
2						
3						

成果	近年順調に分譲が進んでいることによる企業団地進出に係る各種奨励金の交付及び既存企業の設備投資に係る奨励金交付も一定数あり、企業進出及び設備投資の後押しとなっていると思われる。					
R7年度に向けた課題及び改善策	近年企業団地への進出が続いており、引き続き早期売売に向けて、当該優遇制度を積極的にPRし、更に県と協調して企業誘致を進める必要がある。なお、団地売売後を見据え、当該条例の内容変更についても検討していく必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

186

課・局・室・所(係)

商工労働課

企業立地推進室

事務事業番号

222010104

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4 産業・観光			22	企業立地の推進		1	企業誘致の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	企業誘致推進事業		4	企業誘致展示会参加事業			理科大		政策的
事業概要	小野田・楠企業団地の分譲を促進するため、首都圏等で開催される展示会にブース出展し、企業進出の増進を図る。 また、ブースにおいて市の概要、小野田・楠企業団地の紹介のほか、山口東京理科大学や市内企業のコーナーを設置するなど産学官連携の取組も実施する。						対象	(市外・市内)企業		
							手段	市独自の展示会出展に加え、関係機関と連携した展示や情報収集を行う		
							意図	市勢の発展に寄与(企業誘致の取組の一環として実施)		

事業期間	R2以前	年度	～	R7	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	普通旅費			普通旅費			普通旅費		166千円	
	合 計								166千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源								166千円	
	合 計								166千円	
人工数 人件費	0.00人			0.00人			0.00人		千円	
総経費									166千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	展示会出展	活動		1回	1回	1回	1回
				0回	0	0	
				0.00%	0.00%	0.00%	
2							
3							

成果	展示会のブース出展ではなく、創業関係のイベントにて市のPRを実施した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和6年度より事業の見直しを実施し、予算化しないこととした。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	－
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

187

課・局・室・所(係)

商工労働課

企業立地推進室

事務事業番号

222030107

大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)				
4	産業・観光	22	企業立地の推進	3	立地基盤の整備			
実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	立地基盤整備事業	7	企業団地維持管理事業(新山野井団地)					政策的
事業概要	平成6年に新山野井団地を造成する際に、旧山陽町は七日町自治会と新山野井団地内調整池を農業用水として利用するための協定を締結した。このため、調整池にポンプを設置し毎年5月～10月にポンプを動かして農業用水を供給している。しかしながら、施設も老朽化が進んでおり、ポンプが作動しないなどの不具合等も発生している。このため、施設の維持管理のため、必要な修繕等を行っていく。また、調整池の土砂も堆積しているため、管理道の草刈りを年次的に行い、土砂の撤去も行っていく。				対象	新山野井団地調整池		
					手段	かんがい揚水施設の維持管理		
					意図	七日町営農組合の田へ円滑に農業用水を供給する		

事業期間	R3	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	修繕料	259千円		工事請負費	231千円					
	合 計	259千円		231千円						
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	新山野井工業団地かんがい	259千円	新山野井工業団地かんがい	231千円					
	一般財源	揚水施設維持管理基金		揚水施設維持管理基金						
	合 計	259千円		231千円						
人工数 人件費	0.10人	578千円		0.10人	573千円					
総経費		837千円		804千円						

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	かんがい排水施設の修繕等	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	0回	
			100%	100%	—	
2	新山野井工業団地かんがい揚水施設維持管理基金残高推移	活動	17,525,400円	16,525,400円	15,525,400円	14,525,400円
			17,525,400円	17,525,400円	17,211,185円	
			100%	—	—	
3						

成果	維持管理が適正に行われており、修繕等の必要がなかった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後も適正な維持管理を行ったうえで、必要に応じて修繕等を実施する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	修繕等の必要がなかったため、予算執行していない。					

R5年度 事務事業評価シート

188

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223010102

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4 産業・観光			23	商工業の振興		1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	既存商店街振興事業		2	空き店舗等利活用支援事業		3－(4)			政策的
事業概要	市内の指定地区において、空き店舗を活用して事業をする者(既存事業者、新規起業者等)に対して、当該店舗において事業を開始するための「リニューアルの費用」の一部を補助する。(補助金上限額:1/2以内、50万円 事業者1回のみ申請可能)						対象	空き店舗を改修し、事業を始める者		
							手段	店舗等のリニューアルに対する補助を行う。		
							意図	事業者に対して、事業開始時の負担軽減を図る。商業振興、地域経済の増進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	空き店舗等	1,000千円		空き店舗等	1,000千円		空き店舗等	500千円		空き店舗等 3,000千円
	リニューアル補助金			リニューアル補助金			リニューアル補助金			リニューアル補助金
合計		1,000千円			1,000千円			500千円		3,000千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	1,000千円	ふるさと支援基金	1,000千円	ふるさと支援基金	500千円	ふるさと支援基金	3,000千円	
	一般財源		千円							
合計		1,000千円			1,000千円			500千円		3,000千円
人工数 人件費	0.02人	116千円		0.02人	115千円		0.02人	117千円		
総経費		1,116千円			1,115千円			617千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	補助事業利用者	活動		2件	2件	3件	4件
				2件	2件	1件	
				100.00%	100.00%	33.33%	
2	空き店舗数(小野田駅前商店街、厚狭商店街)	成果		8店舗	7店舗	6店舗	5店舗
				7店舗	10店舗	12店舗	
				114.20%	-	-	
3							

成果	補助金を活用し、厚狭駅前商店街に事業所がオープンした。また、Aスクエア周辺の活性化を図るため、補助制度の見直しを実施し、令和6年度から一部改正することとした。					
R7年度に向けた課題及び改善策	補助制度についての周知が十分ではないため、商工会議所等と連携して周知に努める。					
目標達成度	D	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

189

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223010205

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)			
	4 産業・観光				23	商工業の振興			1	商業振興支援の充実		
	実施計画名			事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	商業振興支援事業			5	創業応援金交付事業			3ー(4)			政策的
事業概要	「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、支援のための助成金を交付する。創業後、1年経過したことを交付要件とし、1年度につき10万円、3年間交付する。								対象	特定創業支援事業証明を受けた創業者		
									手段	補助金の交付		
									意図	創業者に対し助成金を交付することで、創業当初の運営負担を軽減する。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	創業応援事業補助金	1,000千円		創業応援事業補助金	1,200千円		創業応援事業補助金	1,600千円		創業応援事業補助金 2,300千円
合計		1,000千円			1,200千円			1,600千円		2,300千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	1,000千円	ふるさと支援基金	1,200千円	ふるさと支援基金	1,600千円	ふるさと支援基金	2,300千円	
	一般財源		千円							
合計		1,000千円			1,200千円			1,600千円		2,300千円
人工数 人件費	0.02人	116千円		0.02人	115千円		0.02人	117千円		
総経費		1,116千円			1,315千円			1,717千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1 助成金交付件数	活動		11件	19件	20件	26件
			10件	12件	16件	
			90.91%	63.16%	80.00%	
2						
3						

成果	創業者は年々増加しており、本補助金の交付件数も年々伸びてきている。創業後の伴走支援により、廃業されるケースは少なくなっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	創業者に対しては創業前の支援から創業後の伴奏支援まで手厚く行うことで安定した経営につながるため、今後も商工会議所と連携し、支援に努める。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

190

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223010206

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	23	商工業の振興	1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	商業振興支援事業	6	創業支援事業(個別相談会、支援セミナー等実施事業)	3-(4)			政策的
事業概要	平成28年4月に策定した「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づき、創業を希望する方(事業承継も含む)への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、短期の集中セミナー(起業塾)等を実施する。創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップする。商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援等事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置づける。 また、市内で創業を希望する方を対象に、おのだサンパーク内の店舗スペースを一定期間提供する「チャレンジショップ」を実施する。				対象	市内で創業を希望する方、創業された方		
					手段	相談会、セミナー等の実施		
					意図	市内での創業を支援し、市の商業振興を目的とする。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	創業支援業務委託料	1,976千円		創業支援業務委託料	1,847千円		創業支援業務委託料	1,768千円		創業支援業務委託料 2,000千円
				創業支援業務委託料	983千円		創業支援業務委託料	724千円		創業支援業務委託料 848千円
				(チャレンジショップ)			(チャレンジショップ)			(チャレンジショップ)
合計		1,976千円			2,830千円			2,492千円		2,848千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	1,976千円	ふるさと支援基金	2,830千円		ふるさと支援基金	2,492千円		ふるさと支援基金 2,848千円
	一般財源		千円							
	合計		1,976千円		2,830千円			2,492千円		2,848千円
人工数 人件費	0.02人	116千円		0.03人	172千円		0.04人	233千円		
総経費		2,092千円			3,002千円			2,725千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	創業相談件数(創業支援等事業計画に基づく支援実施者)	活動		100件	100件	120件	120件
				145件	164件	162件	
				145.00%	164.00%	135.00%	
2	創業者(創業支援等事業計画に基づく支援実施者)	成果		25人	25人	25人	25人
				19人	26人	33人	
				76.00%	104.00%	150.00%	
3	短期の集中セミナー(起業塾)参加者	活動		10人	10人	15人	15人
				24人	25人	22人	
				240.00%	250.00%	146.67%	

成果	全ての指標において、目標を上回る実績となった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き、商工会議所と連携して事業を推進する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

191

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223010207

大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)				
施策体系	4	産業・観光	23	商工業の振興	1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	商業振興支援事業	7	山口東京理科大学学生定住促進事業	3－(1)			政策的
事業概要	山口東京理科大学には市内からの進学はもとより市外、県外から多くの学生が入学してくることから、本市の住民基本台帳に登録されている山口東京理科大学の学生に対して、インセンティブとして「住まいる奨励金」を支給し、本市への定住を促進させるとともに商業振興を図る。交付業務は公立大学法人山口東京理科大学に委託する。				対象	山陽小野田市の住民基本台帳に登録している学生		
					手段	市内の協力店で買い物をした学生に1人当たり最大3万円を「住まいる奨励金」として交付する		
					意図	若者の定住人口の確保及び商業振興		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	市内定住促進業務委託料	3,345千円		市内定住促進業務委託料	3,107千円		市内定住促進業務委託料	5,594千円		市内定住促進業務委託料 6,663千円
	消耗品費			消耗品費			消耗品費			印刷製本費 182千円
	印刷製本費	75千円		印刷製本費	330千円		印刷製本費			消耗品費 20千円
合計		3,420千円			3,437千円			5,594千円		6,865千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	3,420千円			3,437千円			5,594千円		6,865千円
	合計	3,420千円			3,437千円			5,594千円		6,865千円
人工数 人件費	0.03人	174千円		0.02人	115千円		0.03人	175千円		
総経費		3,594千円			3,552千円			5,769千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	入学時に山陽小野田市の住民基本台帳に登録している学生(1年生)の割合	成果		75%	60%	60%	60%
				39.5%	44.2%	53.3%	
				52.67%	73.67%	88.83%	
2	住まいる奨励金交付数	活動		-	-	-	-
				111人	103人	187人	
3							

成果	制度の周知が進み、交付者数が大幅に伸びた。住民基本台帳に登録している学生数も順調に伸びてきている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	理科大学生の定住促進や商業振興の効果等を鑑み、事業廃止の方向で検討する。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	休廃止	コスト	皆減	⑦
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

192

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223010209

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4 産業・観光			23	商工業の振興			1	商業振興支援の充実		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	商業振興支援事業			9	商品券(スマイルチケット)発行事業					政策的
事業概要	原油価格・物価高騰の影響等に鑑み、市民生活を支援するとともに、地域における消費を喚起するために市民に商品券を配布する。 ■商品券 発行額面 500円 ※市民1人につき4,000円分の商品券(500円×8枚)を配布 ■取扱店(あらかじめ商品券取扱店として登録した市内店舗 ①専用券(5枚) 市内の飲食店、小規模事業者、タクシー事業者 ②共通券(3枚) 商品券取扱店全店舗						対象	本市住民基本台帳に登録された市民・理科大生、商品券取扱店			
							手段	市民は、配布された商品券を取扱店で使用する。取扱店は、市内金融機関に使用済みの商品券を持参し換金する。			
							意図	市民生活の支援及び地域の消費喚起			

事業期間	R5	年度	～	R5	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	印刷製本費	7,263	千円	印刷製本費	7,953	千円	印刷製本費	7,488	千円	
	通信運搬費	9,028	千円	通信運搬費	11,559	千円	通信運搬費	11,489	千円	
	手数料	13,247	千円	手数料	13,143	千円	手数料	10,383	千円	
	コールセンター業務委託料	2,477	千円	コールセンター業務委託料	1,638	千円	帳票類印刷・封入等委託料	5,248	千円	
	帳票類印刷・封入等委託料	4,633	千円	帳票類印刷・封入等委託料	5,689	千円	商品券発行事業負担金	238,745	千円	
	商品券発行事業負担金	302,998	千円	商品券発行事業負担金	300,393	千円	その他(委託等)	2,377	千円	
	その他(人件、役務、委託等)	1,619	千円	その他(人件、役務、委託等)	1,950	千円				
	合 計		341,265	千円		342,325	千円	275,730	千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金	10/10	301,972	千円	10/10	341,528	千円	10/10	269,850	千円
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		39,293	千円		797	千円	5,880	千円	
	合 計		341,265	千円		342,325	千円	275,730	千円	
人工数 人件費	1.40	人	6,732	千円	1.30	人	6,143	千円	1.30	人
総経費			347,997	千円			348,468	千円	281,672	千円

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	取扱店舗数	活動		550店舗	570店舗	570店舗	
				570店舗	573店舗	540店舗	
				103.64%	100.53%	94.74%	
2	商品券使用数	活動		619,060枚	619,000枚	490,400枚	
				602,915枚	597,704枚	471,959枚	
				97.39%	96.56%	96.24%	
3	取扱店舗向けアンケートで、スマイルチケット実施により売上が減少しなかったと回答した店舗の割合	成果		90%	90%	90%	
				95.4%	98.7%	97.9%	
				106.00%	109.67%	108.78%	

成果	4回目の実施となり、市民の認知度も高く、大きなトラブルなく事業を実施することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	－
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

193

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223020103

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光		23	商工業の振興		2	中小企業支援の充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	中小企業経営支援事業		3	中小企業振興推進事業					
事業概要	平成27年6月に制定した「山陽小野田市中小企業振興条例」に基づき策定した「中小企業振興推進計画」について、KPIなどを活用し、進捗状況を検証していく。						対象	本市の中小企業の振興に関する推進計画		
							手段	協議会を開催し、推進計画の策定及び検証を行う		
							意図	商業振興、市内中小企業の発展		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳				報償金			報償金			報償金 220千円
				消耗品費			消耗品費			保険料 15千円
				印刷製本費			印刷製本費			
				通信運搬費			通信運搬費			
				保険料			保険料			
	合 計									235千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									235千円
	合 計									235千円
人工数 人件費	0.00人			0.00人			0.00人			
総経費										

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	推進計画の策定・検証	活動	検証	策定	策定	検証
			-	-	-	
			0.00%	0.00%	0.00%	
2	協議会の開催	活動	-	5回	5回	2回
			-	0回	0回	
			-	0.00%	0.00%	
3						

成果	「第2次中小企業振興推進計画」(R5年度～)を策定する予定であったが、新型コロナウイルスや物価高騰等に係る経済対策を急ぎ実施する必要があることから、当該計画の策定は行っていない。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	未実施	R7年度に向けた方向性				
		成果	縮小	コスト	縮小	⑥
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

194

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223020105

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)			
	4 産業・観光				23	商工業の振興			2	中小企業支援の充実		
	実施計画名			事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	中小企業経営支援事業			5	新型コロナウイルス感染症に関する中小企業等支援事業						政策的
事業概要	新型コロナウイルス感染症、物価高騰等に対応した中小企業、小規模事業者支援を次のとおり実施する。 ・経営相談(事業転換、新商品開発を含む)、国の「小規模事業者持続化補助金」などに関する相談窓口やセミナー等を実施する。							対象	小野田商工会議所、山陽商工会議所			
								手段	中小企業相談所補助金の交付			
								意図	市内中小企業、小規模事業者支援			

事業期間	R2以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	中小企業相談所補助金	1,410千円		中小企業相談所補助金	810千円		中小企業相談所補助金	960千円		
	合 計		1,410千円		810千円			960千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	10/10	1,410千円	10/10	810千円					
	県支出金									
	地方債									
	その他					コロナウイルス等対策基金	960千円			
	一般財源									
	合 計		1,410千円		810千円			960千円		
人工数 人件費	0.07人		405千円	0.03人	172千円		0.03人	175千円		
総経費			1,815千円		982千円			1,135千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	相談会、セミナー出席者数	活動	130名	100名	120名	
			-	81名	121名	
			-	81.00%	100.83%	
2	サイト登録店舗数	活動	60店舗	-	-	-
			53店舗	-		
			88.30%	-		
3						

成果	個別相談会やセミナーを開催し、コロナや物価高騰の影響を受ける中小企業の支援を行うことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

195

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010106

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4 産業・観光			24	農林水産業の推進		1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	農業生産者支援事業		6	農地中間管理機構事業					政策的
事業概要	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な農業の実現のため、農地中間管理機構を活用し、担い手への農地集積と集約化を図る。「農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想」において令和5年度末を目標に担い手への集積率を概ね40%とすることとしているため、集積目標は40%(担い手人数R10年度 70人)とする。既存の農事組合法人による大規模な集積は完了しており、今後は令和5年度に設立予定の農事組合法人及び個人の担い手による集積を推進する必要がある。						対象	担い手農業従事者		
							手段	農地の中間受け皿として県農地中間管理機構が整備され、担い手への農地集積と集約化を行う。		
							意図	担い手への農地集積の促進・農地の集約化の加速化		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	機構集積協力金			機構集積協力金			農地集積協力補助金			農地集積協力補助金
合計										
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金			10/10			10/10			10/10
	地方債									
	その他									
	一般財源						千円			
合計										
人工数 人件費	0.01人			58千円			0.02人			115千円
総経費				58千円			5,396千円			13,431千円

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	担い手への農地の集積率	成果		33.0%	35.0%	70.0%	70.0%
				31.3%	32.3%	33.9%	
				94.80%	92.29%	48.43%	
2							
3							

成果	令和5年度においては農事組合法人設立に伴い、農地の集積・集約化が図られた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	地域計画を策定に伴い、農地をどう守るか等、地域での話し合いを引き続き実施していく予定のため、今後も担い手へ農地の集積・集約化を図ってきたい。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

196

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010107

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	農業生産者支援事業		7	担い手支援事業					政策的
事業概要	担い手の育成・確保を図るため経営発展を目指す認定農業者の農業用機械・施設の導入経費の一部を支援する。 ○補助対象 農産物の生産、農業経営の開始または改善に必要な機械(10万円以上)・施設の取得に要する経費 ○補助金額 事業費の1/2 上限機械50万円・施設100万円 (5年間の認定期間中に1回限り)					対象	認定農業者(令和4年7月末現在57名)			
						手段	機械・施設の整備に要した経費の1/2を補助する。			
						意図	担い手の確保・育成			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	担い手支援事業補助金	4,853千円		担い手支援事業補助金	4,816千円		担い手支援事業補助金	3,867千円		担い手支援事業補助金 5,000千円
合計		4,853千円			4,816千円			3,867千円		5,000千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	4,853千円	ふるさと支援基金	4,816千円	ふるさと支援基金	3,867千円	ふるさと支援基金	5,000千円	
	一般財源		千円							
合計		4,853千円			4,816千円			3,867千円		5,000千円
人工数 人件費	0.02人	116千円		0.03人	172千円		0.06人	350千円		
総経費		4,969千円			4,988千円			4,217千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	交付決定数	成果	10件	10件	10件	10件
			9件	16件	9件	
			90.00%	106.00%	90.00%	
2	認定農業者数	活動	56人	59人	61人	63人
			58人	62人	63人	
			103.57%	105.08%	103.28%	
3						

成果	農業用機械・施設の経費の一部を支援することにより、担い手の育成・確保を行うことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	認定農業者等の担い手に継続的な農業用機械・施設の経費に対する支援を行うことで育成及び確保を図っていく、担い手の要望に応じていく必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

197

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010109

大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)				
4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化			
実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
1	農業生産者支援事業	9	6次産業化・農商工連携応援事業	3－(4)			政策的	
事業概要	農林水産業従事者の高齢化が進む中で、担い手や労働力の確保が益々困難になると予想される中、農林水産業が発展していくためには、「売れる商品づくり」が必要であり、現代のニーズに合った商品開発や適切な販路開拓が課題となっている。しかし、農林水産業者は家族経営や小規模な企業が多く、消費者ニーズを踏まえた取組を単独で実施することは難しい。そこで、市内農林水産物を使用した、真に売れる新商品開発など、販路拡大までの総合的な支援を行うことで、成功事例を創出し、農林水産業全体の発展に寄与する。			対象	市内農林水産物を使用していること。			
				手段	6次産業化・農商工連携応援協議会の取組に対する補助(定額)及び同協議会の支援を受け作成した6次産業化・農商工連携応援プランを			
				意図	成功事例を創出し、農林水産業全体の発展に寄与する。			

事業期間	R3	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	協議会補助金	1,477千円		協議会補助金	875千円		協議会補助金	1,486千円		6次産業化・農商工連携応援事業補助金 3,000千円
	応援事業補助金			応援事業補助金			応援事業補助金	189千円		6次産業化・農商工連携応援協議会補助金 2,000千円
合計		1,477千円			875千円			1,675千円		5,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	1,675千円			
	一般財源	1,477千円			875千円					5,000千円
合計		1,477千円			875千円			1,675千円		5,000千円
人工数 人件費	0.40人	2,313千円		0.50人	2,866千円		0.10人	583千円		
総経費		3,790千円			3,741千円			2,258千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	6次産業化・農商工連携応援プランの実行	活動		1	2	2	2
				0	0	2	
				0.00%	0.00%	100.00%	
2	市ふるさと納税返礼品新規登録数	成果		1	2	2	2
				0	0	0	
				0.00%	0.00%	0.00%	
3							

成果	6次産業化・農商工連携応援プランについて、2事業者の認定を行い、一部プランの実行を行ったが、ふるさと納税返礼品の登録までには至らなかった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	R5年度にプランの認定を行い、プラン実行に移ったので、R6年度中にふるさと納税返礼品への登録に向けて、引き続き2事業者を支援していく。 一方、新たに6次産業化に取り組む農家等を発掘し、支援していく必要がある。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

198

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010110

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4 産業・観光			24	農林水産業の推進		1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	農業生産者支援事業		10	地域計画策定推進緊急対策事業					政策的
事業概要	地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿や農地利用者を明確化した地域計画の策定に取り組む。 (1)集落・地域における協議の開催 (2)将来の農地利用の姿等の検討・作成 (3)関係者への意見聴取 (4)地域計画の策定 (5)周知・フォローアップ等						対象	市		
							手段	地域における話し合いを開催し、将来の農地利用		
							意図	地域計画を通して農地の集約化を進める		

事業期間	R3	年度	～	R5	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳				職員手当(時間外)	89千円		職員手当等	125千円		職員手当等 300千円
				消耗品費	22千円		消耗品費	37千円		通信運搬費 80千円
				通信運搬費	42千円		通信運搬費	45千円		消耗品費 40千円
							会場借上料	2千円		会場借上料 10千円
合計						153千円			209千円	430千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金			10/10		153千円	10/10		209千円	10/10 430千円
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合計						153千円			209千円	430千円
人工数 人件費	0.00人			0.00人			0.21人	1,223千円		
総経費						153千円			1,432千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	農業者等から意見を聴取する会合の開催	活動		8地区	5地区	5地区	4地区
				3地区	1地区	5地区	
				37.50%	20.00%	100.00%	
2	地域計画策定 (人・農地プランの実質化)	成果		8プラン	5地区	5地区	9地区
				3プラン	1地区	0地区	
				37.50%	20.00%	0.00%	
3							

成果	令和5年度、5地区において地域の話合いを開催し、目標地図の素案や地域計画の素案を作成することができた。また、農業経営基盤強化促進法の改正により地域計画を策定した地区は改正後を適用し、策定していない地区は改正前を適用することとなり、事務が煩雑化するため、令和6年度末に9地区すべての地域計画を策定することとした。					
R7年度に向けた課題及び改善策	地域計画は、令和6年度までに策定することとされているが、令和7年度以降も地域の話合いを開催し、目標地図を完成度を高める必要があるため、令和7年度以降も地域計画策定業務を行う必要がある。しかし、国の事業である当該事業は令和6年度で終了するため、今後の国の動向を注視しながら予算確保に努めたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	－
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

199

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010112

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4	産業・観光			24	農林水産業の推進		1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	農業生産者支援事業		12	集落営農法人連合体形成加速化事業					政策的	
事業概要	集落営農法人連合体の経営基盤の強化を進めることで、農業の持続的発展を図るため、共同利用機械を購入する経費について補助する。						対象	集落法人連合体(山陽アグリネットワーク協同組合)			
							手段	機械の購入に要する経費について補助する。 補助率1/3以内。			
							意図	共同利用機械の導入と構成法人の人材の集中による農作業受託を行うことで各構成法人の経営改善を目指す。			

事業期間	R5年度	～	R5年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					集落営農法人連合体	663千円		
					形成加速化事業補助金			
	合 計					663千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金					663千円		
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	合 計					663千円		
人工数 人件費					0.10人	583千円		
総経費						1,246千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	共同利用機械の導入					1件	
						1件	
						100.00%	
2							
3							

成果	集落営農法人連合体に対し、必要な支援をすることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	集落営農法人連合体の要望を確認しながら、必要に応じて当該事業を活用し支援していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

200

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010201

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4	産業・観光				24	農林水産業の推進			1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	新規就業者支援事業				1	農業次世代人材投資事業						政策的
事業概要	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金(経営開始型(5年以内))を交付する。 なお、令和4年度に新規就農者育成総合対策(経営開始資金)が創設され、令和4年度から認定新規就農者として認定された者から適用される。								対象	認定新規就農者			
									手段	年間最大150万円を最長5年間交付(家族協定締結者は、225万円)			
									意図	経営の安定化並びに次世代を担う農業者の確保及び育成を図る。			

事業期間		R2以前	年度	～	R8	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	農業次世代人材投資資金		7,905千円		農業次世代人材投資資金	6,000千円	農業次世代人材投資資金	1,500千円	農業次世代人材投資資金	1,350千円	
	合 計		7,905千円		6,000千円		1,500千円		1,350千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金	10/10	7,905千円	10/10	6,000千円	10/10	1,500千円	10/10	1,350千円		
	地方債										
	その他										
	一般財源										
	合 計		7,905千円		6,000千円		1,500千円		1,350千円		
人工数 人件費		0.20人	1,157千円	0.10人	573千円	0.31人	1,806千円				
総経費			9,062千円		6,573千円		3,306千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	資金交付件数	成果	5件	4件	2件	1件
			4件	3件	1件	
			80.00%	75.00%	50.00%	
2	新規就農者数	活動	1人	1人	1人	1人
			1人	1人	0人	
			100.00%	100.00%	0.00%	
3						

成果	当事業は令和3年度で終了となり、令和3年度までに採択された認定新規就農者へ資金の交付をした。					
R7年度に向けた課題及び改善策	本事業は令和3年度採択分で廃止となり、令和4年度から「新規就農者育成総合対策(経営開始資金)」に移行したため、当事業で対応し、引き続き新規就農者の確保を図る。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	縮小	コスト	縮小	⑥
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

201

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
	2	新規就業者支援事業	2	新規就農・就業者定着支援事業			政策的
事業概要	新規就農者を雇用又は、構成員として受け入れた法人が、国の農の雇用事業を2年間活用した後に継続して雇用等を行う場合、単県事業で最長3年間の支援を行なう。				対象	新規就農者を雇用又は、構成員として受け入れた法人	
					手段	国の農の雇用事業(120万円/年)を2年間活用後に継続して雇用する法人に対し、3年目90万円、4年目60万円、5年目30万円を給付す	
					意図	県内外からの新規就農・就業者び確保対策を一層加速化するため、新規就農・就業者の定着支援を図る。	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	新規農業就業者定着促進事業補助金	1,550千円		新規農業就業者定着促進事業補助金	1,975千円		新規農業就業者定着促進事業補助金	2,300千円		新規農業就業者定着促進事業補助金
合計		1,550千円			1,975千円			2,300千円		2,800千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	1/2	775千円	1/2	987千円	1/2	1,150千円	1/2	1,400千円	
	地方債									
	その他									
	一般財源	1/2	775千円	1/2	988千円	1/2	1,150千円	1/2	1,400千円	
合計		1,550千円			1,975千円			2,300千円		2,800千円
人工数 人件費	0.21人	1,215千円		0.10人	573千円		0.21人	1,223千円		
総経費		2,765千円			2,548千円			3,523千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	新規就農者受入法人数	成果		5法人	5法人	5法人	5法人
				1法人	2法人	3法人	
				20.00%	40.00%	60.00%	
2	補助対象人数	成果		10人	10人	10人	10人
				4人	8人	5人	
				40.00%	80.00%	50.00%	
3							

成果	新規就農者受入法人数は5法人あり、新規就業者数は5人であったが、事業活用は3法人にとどまった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	新規就業者受入れのPR活動や本事業をPR活動が必要である。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

202

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010204

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)			
	4	産業・観光			24	農林水産業の推進			1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名			事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	新規就業者支援事業			4	新規就業者等産地拡大促進事業						政策的
事業概要	市が主体となって策定する「産地パッケージ計画」に基づき、新規就業者の受入支援及び生産力の強化のための機械の導入、施設の整備にかかる経費について支援する。							対象	新規就業者を雇用した法人及び新規就農者を受入れた産地を管轄する農業協同組合等			
								手段	機械・施設等(コンバイン、トラクタ、パイプハウス等)の整備に対して、1/3の補助を行う。			
								意図	産地における新たな人材の確保・育成と生産拡大の取組を一体的に推進できる体制を整備する。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳							新規就業者等産地拡大促進事業	4,819千円		
合計								4,819千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金						10/10	4,819千円		
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合計								4,819千円		
人工数 人件費							0.10人	583千円		
総経費								5,402千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	補助法人数	成果			1	1
					2	
					200.00%	
2						
3						

成果	2法人に対し、県事業である当該事業を活用し、機械や施設整備の支援をすることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	市内法人の要望を確認しながら、必要に応じて当該事業を活用し支援していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

203

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010205

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4	産業・観光				24	農林水産業の推進			1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名			事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	2	新規就業者支援事業			5	新規就農者支援事業			3－(4)			政策的	
事業概要	経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対し、農業用機械又は施設等の整備に要する経費の一部を補助し、経営の安定化及び次世代を担う農業者を確保・育成することを目的とする。							対象	認定新規就農者(就農時18歳以上50歳未満の者で、就農後5年以内の者)				
								手段	農業用機械及び施設整備に係る経費の補助。補助率1/2、上限額 機械150万円・施設250万円 家賃補助。補助率1/2、上限額 月額2.5万円				
								意図	次世代を担う農業者の確保・育成及び移住促進				

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	新規就農者支援事業補助金	1,528千円		新規就農者支援事業補助金	1,696千円		新規就農者支援事業補助金	724千円		新規就農者支援事業補助金 1,788千円
合計		1,528千円			1,696千円			724千円		1,788千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,696千円					
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	1,528千円							
	一般財源		千円					724千円		1,788千円
合計		1,528千円			1,696千円			724千円		1,788千円
人工数 人件費	0.15人	868千円		0.10人	573千円		0.10人	583千円		
総経費		2,396千円			2,269千円			1,307千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1 補助人数	成果			2人	2人	2人	2人
				2人	1人	2人	
				100.00%	50.00%	100.00%	
2							
3							

成果	令和4年度に認定新規就農者を1人確保できたが、令和5年度は新規に確保することができなかった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き新規就農者の確保に努め、本事業をPRを行う。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

204

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
	4	林業振興事業	2	市有林整備事業			政策的
事業概要	多面的機能を有する森林を、無秩序な伐採や開発、荒廃から守り、長期的な視点にたった適切な森林の取扱いを推進する。間伐については本数率にして30%以上、樹冠疎密度が間伐後5年で8/10以上となるように実施。間伐回数2～5回。 【補助率 標準補助単価*4/10*査定係数】				対象	市有林	
					手段	カルスト森林組合へ業務を委託する。	
					意図	水源かん養や国土の保全など森林の持つ多面的機能を持続的に発揮する。	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	委託料	2,618千円		委託料	2,866千円		委託料	2,709千円		市有林整備委託料 3,000千円
合計		2,618千円			2,866千円			2,709千円		3,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	1,223千円			1,368千円			1,634千円		1,200千円
	地方債									
	その他									
	一般財源	1,395千円			1,498千円			1,075千円		1,800千円
合計		2,618千円			2,866千円			2,709千円		3,000千円
人工数 人件費	0.15人	868千円		0.10人	573千円		0.10人	583千円		
総経費		3,486千円			3,439千円			3,292千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	市有林施業面積	活動	5.00ha	5.00ha	5.00ha	5.00ha
			4.29	3.58ha	2.86ha	
			85.80%	71.60%	57.20%	
2						
3						

成果	合板製材事業として、間伐を1.41ha行い、これに伴って作業道を378m開設した。また、森林環境保全直接支援事業として、保育間伐や枝打ち、除伐を1.45ha行い、森林機能の保全を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	計画的で適切な管理を行い、市有林の機能保全を継続的に行っていく必要がある。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

205

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010403

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4	産業・観光			24	農林水産業の推進		1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	4	林業振興事業			3	森林経営管理事業					政策的
事業概要	森林経営管理法に基づき、私有人工林における森林経営の意向調査を行い、森林所有者自らが経営管理を実行できない森林を市が経営管理の委託を受け、森林経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営体に経営管理の再委託を行う。市が経営管理の委託を受けた森林の内、自然的条件に照らして林業経営に適さない森林や再委託に至るまでの森林は市が間伐等の経営管理を実施する。 また森林環境整備基金からの繰入金を財源に、民有林の整備環境促進、荒廃抑制を目的に林道及び作業道の路網整備を実施する。						対象	私有人工林			
							手段	森林経営管理法に基づく経営管理権集積・経営管理実施権配分 林道など路網の維持管理業務・造林支援補助			
							意図	林業の成長産業化・森林の適正管理			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	準備調査及び実施計画策定委託料	6,270千円		修繕料	236千円	森林資源調査委託料	6,138千円		計画策定委託料	4,500千円
	林道等維持管理業務	1,082千円		意向調査業務委託料	2,977千円	林道等維持管理業務委託料	4,213千円		管理委託料	4,000千円
				林道等維持管理業務委託料	2,263千円	造林事業補助金	180千円		工事請負費	3,000千円
				森林経営管理施業委託	825千円				造林事業補助金	2,000千円
				造林事業補助金	72千円					
合計		7,352千円			6,373千円			10,531千円		13,500千円
財源内訳／割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	森林環境整備基金繰入金	7,352千円	森林環境整備基金繰入金	6,373千円	森林環境整備基金繰入金	10,531千円		森林環境整備基金繰入金	13,500千円
	一般財源				千円					
合計		7,352千円			6,373千円			10,531千円		13,500千円
人工数	人件費	0.15人	868千円	0.15人	860千円	0.10人	583千円			
総経費		8,220千円			7,233千円			11,114千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	意向調査準備及び実施計画策定業務	活動		1	-	-	1
				1	-	-	
				100.00%	-	-	
2	意向調査件数	活動		-	100件	-	100件
				-	43件	-	
				-	43.00%	-	
3	森林資源調査面積	成果		-	-	33ha	10ha
				-	-	45ha	
				-	-	136.36%	

成果	山川地区において、資源量調査を実施し目標以上の面積について調査ができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	山川地区において、令和4年度に意向調査、令和5年度に資源量調査を実施した。これを基に令和6年度は、集積計画を策定し、令和7年度は森林整備及び平沼田地区における意向調査を実施予定。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

206

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010404

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4	産業・観光				24	農林水産業の推進			1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	4	林業振興事業				4	森林環境譲与税事業						
事業概要	パリ協定の枠組みの下において、温室効果ガス排出削減目標の達成、災害防止を図るための国からの譲与税を森林整備や森林整備の促進に関する財源を基金により積み立てする。								対象	森林環境譲与税			
									手段	基金の積み立て			
									意図	森林整備や森林整備の促進に関する財源の確保			

事業期間		R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳	森林環境整備基金積立金		8,207千円		森林環境整備基金積立金	10,990千円	森林環境整備基金積立金	10,990千円	森林環境整備基金積立金	13,500千円	
合 計			8,207千円		10,990千円		10,990千円		13,500千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		8,207千円		10,990千円		10,990千円		13,500千円		
合 計			8,207千円		10,990千円		10,990千円		13,500千円		
人工数 人件費		0.10人	578千円	0.15人	860千円	0.10人	583千円				
総経費			8,785千円		11,850千円		11,573千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	積立件数	成果		1件	1件	1件	1件
				1件	1件	1件	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2							
3							

成果	基金積立を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	継続して森林整備等に関する財源とするため、基金積立を行い、必要に応じて繰り出しを行う。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

207

課・局・室・所(係)

農業委員会事務局

事務事業番号

224010804

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4	産業・観光				24	農林水産業の推進			1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	8	農地利用適正化事業				4	地域計画策定推進緊急対策事業				デジタル化		政策的
事業概要	令和4年5月に農業経営基盤強化促進法等が改正され、市長部局(農林水産課)は、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を令和5・6年度で策定することとなった。これを支援するため、農業委員会ではタブレットを活用して農業者の意向把握等を行い、目標地図の素案を作成し、地域での話し合いに臨むこととなる。								対象	農地の所有者及び耕作者			
									手段	現状地図と目標地図の素案を作成し、提供する(農業委員会サポートシステムで作成する)			
									意図	地域資源である農地を活用しながら、将来的に残していくこと			

事業期間	R5	年度	～	R6	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳							消耗品費	74千円	消耗品費	74千円
合計								74千円		74千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金						10/10	74千円	10/10	74千円
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合計								74千円		74千円
人工数 人件費							0.40人	1,719千円		
総経費								1,793千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	目標地図の素案作成地区数	活動			5	4
					5	
					100.00%	
2						
3						

成果	令和5年度は計画どおり、事前アンケートとそれを踏まえた「目標地図の素案」を作成し、5地区7集落において地域の話し合いを行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	—
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

208

課・局・室・所(係)

農林水産課

水産係

事務事業番号

224014603

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4	産業・観光			24	農林水産業の推進		1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	46	漁業近代化資金事業			3	漁業近代化資金利子補給事業					
事業概要	漁業者等へ漁業近代化資金を融資した当該金融機関に対して、市が利子補給を行うことで、漁業近代化資金の円滑な利用を促す。						対象	漁業者、漁業協同組合			
							手段	利子の補給			
							意図	漁業経営の近代化			

事業期間	R4	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳							利子補給	19千円	漁業近代化資金利子補給金	17千円
合計							19千円			17千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							19千円		17千円
合計							19千円			17千円
人工数 人件費							0.05人	291千円		
総経費							310千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	利子補給	活動			1	1
					1	
					100.00%	
2						
3						

成果	漁業近代化資金を融資した金融機関に対して、市が利子補給を実施した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	R6年度より臨時経費から経常経費となっている。今後も継続して計画に基づいた利子補給を実施する。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

209

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

224020101

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	農業基盤整備事業	1	県営農業競争力強化基盤整備事業(王喜東地区)					政策的
事業概要	農地の大区画化及び農業水利施設の整備を実施し、農地集積・集約化を図ることを目的として、山陽小野田市殖生地区10haを含む54haの農用地について、下関王喜東地区として区画整理を実施する。 (総事業費1,700,000千円うち担金総額314.814千円)					対象	地元農家及び農地。		
						手段	県営事業として、王喜地区及び殖生地区の農地を対象に区画整理等を実施する。		
						意図	農業基盤を整備することで、中心経営体への農地の集積を促進し、農業競争力を強化する。		

事業期間	R2以前	年度	～	R7	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	県事業負担金	4,889千円		県事業負担金	956千円		県事業負担金	1,598千円		県事業負担金 6,289千円
	(220,000*10/54*0.12) = 4,889千円			区画整備			区画整備			
	3月補正(当初)	-2,555千円		(43,000*10/54*0.12) = 2,489千円			13,315*0.12 = 1,598千円			
				繰越明許			繰越明許			
	(95,000*10/54*0.12) 区画整備	2,112千円		(180,800*10/54*0.12) 区画整備	4,018千円		(R5国補正)	4,378千円		
	(58,000*10/54*0.12) 暗渠排水	1,289千円		(3,200*10/54*0.12) 暗渠排水	71千円		36,481*0.12 = 4,377千円			
	(非適債)									
合計		5,735千円			5,045千円			5,976千円		6,289千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	公共事業等債		公共事業等債			公共事業等債			
	地方債	事業費*0.1*0.9	4,200千円	事業費*0.1*0.9	3,700千円		事業費*0.1*0.9	4,400千円		事業費*0.1*0.9 4,700千円
	その他									
	一般財源		1,535千円		1,345千円			1,576千円		1,589千円
合計		5,735千円			5,045千円			5,976千円		6,289千円
人工数 人件費	0.05人	290千円		0.05人	287千円		0.05人	291千円		
総経費		6,025千円			5,332千円			6,267千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	進捗率(事業費ベース)	成果	43.4	48.8	75.8	97
			43.4	48.8	75.8	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	当初予算が満額内示されないため、事業工程に遅れが生じている。このため、事業工期の計画変更し、令和11年度の完成に向けて事業を行う。					
R7年度に向けた課題及び改善策	予算要求を行っているが内示が予想を下回り、事業工程が遅れている。今後も国補正予算や局繰越予算を積極的に活用し、財源を確保して事業の完了を目指す。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

210

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

224020102

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備			
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	農業基盤整備事業		2	県営経営体育成基盤整備事業(郡・川東地区)						政策的
事業概要	郡・川東地区では、ほ場整備されていないことで、作業効率や生産性が低い状況にある。そこで、水田の区画整理や水路、農道などの農業生産基盤整備を行い、効率かつ安定的な農業経営の確立を目指す。併せて、ほ場整備により、地域農業の中心的役割を担う経営体(担い手)に農地の利用集積を進め、担い手が農業生産の相当部分を担う農業構造の確立を図る。(整備予定面積:約26ha)						対象	郡・川東地区地元農家及び農地			
							手段	県営事業として、郡・川東地区の農地を対象に、ほ場整備を実施する。			
							意図	農作業の効率化と農地の区画整理による経営体の育成。			

事業期間		R2以前 年度 ～ R10以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳	①県事業負担金	750千円	県事業負担金	2,145千円	県事業負担金	5,400千円	県事業負担金	12,000千円	
	単県事業 (1,500*0.5)		単県事業(4,290*0.5)		(45,000*0.12)		(10,000*0.12)		
	②県事業負担金	2,000千円	(戸籍簿調査・地区界測量)						
	(8,000*0.25)								
	委託料(促進計画作成)	500千円							
	合 計		3,250千円		2,145千円		5,400千円		12,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金					公共事業等債			
	地方債					事業費*0.1*90%	4,000千円	事業費*0.1*90%	9,000千円
	その他								
	一般財源	50%・25%	3,250千円	50%	2,145千円		1,400千円		3,000千円
	合 計		3,250千円		2,145千円		5,400千円		12,000千円
人工数	人件費	0.20人	1,157千円	0.25人	1,434千円	0.20人	1,165千円		
総経費			4,407千円		3,579千円		6,565千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	進捗率(事業費ベース)	成果	2.2	2.6	7.2	17.2
			2.2	2.6	7.2	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	令和5年度は詳細設計・換地原案の作成を実施した。換地原案については令和5年8月19日と令和6年3月23日に全体説明会を実施し、土地所有者に事業計画の説明を行った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和5年度から詳細設計を実施し、令和6年度から区画整備工事を開始している。しかし、ほ場整備事業の当初予算の内示が不足しているため、完了年度に遅れが生じる可能性がある。今後は国補正予算や局繰越予算を積極的に活用し、財源を確保して事業の完了を目指す。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

211

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

224020203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
	2	土地改良事業	3	小規模土地改良助成事業(追加)			政策的
事業概要	地元から要望等のあった農業用施設の改修等について、単県事業等の要件に合わないものについて市の単独事業として実施する。また、要望件数の増加等により翌年度以降に繰り越される事業が増加していることから、予算を増額し繰越件数の減少を目指す。				対象	地元農家及び農業用施設。	
					手段	地元が行う農業用施設の改修工事に補助金を交付する。	
					意図	営農の保全及び向上を図る。	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	助成金			助成金			助成金	1,406千円	小規模土地改良事業助成金	1,500千円
合計							1,406千円			1,500千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							1,406千円		1,500千円
合計							1,406千円			1,500千円
人工数 人件費	0.00人			0.07人		402千円	0.05人	291千円		
総経費						402千円	1,697千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	実施件数件数	活動			11	4
					11	
					100.00%	
2	繰越件数	成果	22	20	19	4
			22	20	19	
			100.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	人気事業のため、事業実施待ちが増加してきているので追加予算要求を行う。					
R7年度に向けた課題及び改善策	申請待ち件数が増加しているため、令和6年に予算要求を行うが、満額の内示が得られなかった。現状では2年から3年の待ちが発生しているため、引き続き予算要求を実施していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

212

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

224020209

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4	産業・観光			24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	土地改良事業		9	土地改良区等推進補助金(追加)						政策的
事業概要	高千帆土地改良区が維持管理している排水機場等の土地改良施設について、令和4年度から管理業務について業者委託することとなったが、電気主任業務については個人に委託を継続をしていた。しかし、令和5年度より一般財団法人中国電気保安協会に委託することとなった。						対象	土地改良区等			
							手段	地元による大雨時の運転管理費及び通常時の維持管理費を補助する。			
							意図	地元による土地改良施設の維持管理により、効率化を図る。			

事業期間	R4	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳				維持管理費	4,788千円		維持管理費	1,144千円		
	合 計				4,788千円			1,144千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源				4,788千円			1,144千円		
	合 計				4,788千円			1,144千円		
人工数 人件費	0.00人			0.10人	574千円		0.10人	583千円		
総経費					5,362千円			1,727千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	高千帆土地改良区排水機場等の電気主任業務	成果			4		
					2		
					50.00%		
2	各排水機場の光熱水費	成果				3	
						3	
						100.00%	
3							

成果	電気代の高騰や大雨の影響により、各排水機場の光熱水費が不足したため、補正予算で対応した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	各排水機場においては、電気代の高騰により維持管理費の増加が予想される。また、高千帆排水機場の施設管理業務の労務単価見直しにより、管理委託費が増加するため、今後は予算要求を行っていく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

213

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

224020210

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)			
	4		産業・観光		24		農林水産業の推進		2		生産基盤の整備	
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2		土地改良事業		10		農業用ため池管理事業					政策的
事業概要	農業用ため池の管理及び保全に関する法律が施行され、ため池の維持管理が義務化された。防災重点ため池等のうち、管理者不明箇所及び市所有箇所について、維持管理が必要になる。ため池の草刈り等を行うことにより、早期に危険な状態が確認できるため、年次的に維持管理を行う。							対象	市が管理するため池施設。			
								手段	市が管理するため池施設の維持管理を実施する。			
								意図	ため池の危険度の確認を図る。			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					備品購入費	569千円		
合 計						569千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					569千円		
合 計						569千円		
人工数 人件費	0.25人	1,446千円	0.07人	402千円	0.20人	1,165千円		
総経費		1,446千円		402千円		1,734千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	備品整備	活動			- 整備 -	
2						
3						

成果	ため池の緊急放流ポンプ(サイフォン)および水位計を購入し、大雨時の事前対応やため池の緊急時に早期対応を行うことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	市内のため池で維持管理が行き届かない箇所が増えてきている。職員が草刈りなどの維持管理を行っているが、それを上回る箇所で放置されたため池が増えているため、引き続き維持管理費の予算要求を行う。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

214

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224020505

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4	産業・観光				24	農林水産業の推進			2	生産基盤の整備		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	5	有害鳥獣対策事業				5	有害鳥獣捕獲奨励事業(臨時分)						政策的
事業概要	増え続ける有害鳥獣による農作物被害防止を目的に捕獲奨励のため、令和元年度からイノシシの捕獲奨励金単価の引き上げを行った。さらには、近年増加しているヌートリアの捕獲に対しても奨励金の対象とし、被害防止に努めている。また、被害防止計画の捕獲計画数を達成できるよう見直しを行いながら捕獲を奨励していく。								対象	有害鳥獣対策協議会			
									手段	イノシシ4,000円/頭・シカ5,000円/頭・サル13,000円/匹・ヌートリア2,000円/匹			
									意図	農林産物被害の減少			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	捕獲奨励補助金	2,608千円		捕獲奨励補助金	1,701千円		捕獲奨励補助金	1,711千円		有害鳥獣捕獲奨励補助金 3,112千円
合計		2,608千円			1,701千円			1,711千円		3,112千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	2,608千円			1,701千円			1,711千円		3,112千円
合計		2,608千円			1,701千円			1,711千円		3,112千円
人工数 人件費	0.02人	116千円		0.05人	287千円		0.31人	1,806千円		
総経費		2,724千円			1,988千円			3,517千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	捕獲計画数(イノシシ)	成果	380頭	350頭	700頭	700頭
			617頭	380頭	358頭	
			162.37%	108.57%	51.14%	
2	捕獲計画数(シカ)	成果	10頭	10頭	40頭	40頭
			28頭	24頭	44頭	
			280.00%	240.00%	110.00%	
3	捕獲計画数(ヌートリア)	成果	-	25頭	30頭	30頭
			10頭	24頭	23頭	
			-	96.00%	76.67%	

成果	イノシシについては、昨年並に捕獲することができ、シカについては目標以上に捕獲することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和4年度から令和6年度までの捕獲頭数実績に基づき、捕獲計画数を見直すとともに、市被害防止計画の見直しを行う。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

215

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224020507

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	5	有害鳥獣対策事業		7	有害鳥獣捕獲事業(臨時)					政策的
事業概要	農作物に被害を与える有害鳥獣の捕獲を促進するため捕獲業務を山口県猟友会小野田地区、山陽地区に委託しているが、近年、イノシシによる被害が多発しており、市街地で有害鳥獣の出没情報が多発している。それに伴い、捕獲事業での現地確認やわな設置、見回りの回数も増加するため、出勤回数等に見合った委託料とし、有害鳥獣捕獲事業の円滑な推進を図る。					対象	山陽小野田市の各地区猟友会			
						手段	猟友会各地区に対し、有害鳥獣捕獲対応に係る委託を行う。			
						意図	農作物への被害を最小限に食い止め、農業基盤の保全に努める。			

事業期間	R5	年度	～	R10以降	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳							有害鳥獣捕獲委託料	1,117千円		有害鳥獣捕獲委託料 1,117千円
	合 計							1,117千円		1,117千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源					1		1,117千円	1	1,117千円
	合 計							1,117千円		1,117千円
人工数 人件費							0.22人	1,282千円		
総経費								2,399千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	出勤人員	活動			200人	200人
					937人	
					468.50%	
2						
3						

成果	有害鳥獣による農作物被害防止や市街地での出没において、現地確認から捕獲や追い払いをはじめ、わなの見回り等を行ってもらい、農作物被害の軽減が図られた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	当面は、令和6年度と同額予算で委託していくが、状況に応じて増額要求し、効果的に駆除できるよう検討していく。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

216

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224020504

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4	産業・観光			24	農林水産業の推進			2	生産基盤の整備			
	実施計画名			事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	5	有害鳥獣対策事業			4	有害鳥獣対策協議会支援事業							政策的
事業概要	鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資するため、山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部又は全部について、予算の範囲内で補助する。								対象	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会			
									手段	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部又は全部について、予算の範囲内で補助する。			
									意図	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営の円滑化を図り、鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資する。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	有害鳥獣対策協議会補助金	27千円		有害鳥獣対策協議会補助金	27千円		有害鳥獣対策協議会補助金	385千円		有害鳥獣対策協議会補助金 145千円
合 計		27千円			27千円			385千円		145千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	27千円			27千円		385千円			145千円
合 計		27千円			27千円		385千円			145千円
人工数 人件費	0.10人	578千円		0.45人	2,580千円		0.22人	1,282千円		
総経費		605千円			2,607千円			1,667千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	協議会開催回数	活動		1件	1件	1件	1件
				3件	1件	1件	
				300.00%	100.00%	100.00%	
2	ICTわな	活動			1件	2件	2件
					1件	2件	
					100.00%	100.00%	
3							

成果	ICTわなを小野田地区・山陽地区に1か所ずつ親機を設置し、効率的な捕獲業務が行えるようになった。また、実施隊活動における追い払い用備品を整備し、実施隊のうち6名がわな免許を取得したことで捕獲体制の強化を図った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	捕獲隊や実施隊をはじめ、関係機関と引き続き連携を図りながら、捕獲体制の強化を図りたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

217

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224020509

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備			
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	5	有害鳥獣対策事業		9	鳥獣被害対策実施隊整備事業						政策的
事業概要	現在、鳥獣被害対策実施隊(市職員)では有害鳥獣の出没通報があった場合に現地に出勤し、鳥獣の追払いをしている。なお、電動ガンやスリングショットを用いての追払い時には実施隊員活動中であることを明確にすることを求めるのでベストを着用することとする。						対象	山陽小野田市鳥獣被害対策実施隊			
							手段	鳥獣被害防止対策(追払い)に用いる物品整備			
							意図	事業を安全かつ効果的に実施することにより、鳥獣被害の防止に努める。			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					消耗品	16千円		
	合 計					16千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				1	16千円		
	合 計					16千円		
人工数 人件費					0.01人	58千円		
総経費						74千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	実施隊出動件数	活動			150	-
					100	
					66.67%	
2						
3						

成果	実施隊が出動する際に、「実施隊活動中」である旨がわかるビブスを購入し、出動時に活用した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	追払い用備品については、有害鳥獣対策協議会支援事業において整備していく。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	-
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

218

課・局・室・所(係)

農林水産課

水産係

事務事業番号

224020601

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	6	漁港整備事業	1	埴生漁港整備事業					政策的
事業概要	漁船の大型化に伴う休憩、陸揚げ施設の不足、用地不足及び干潮時の水深不足による出漁制限等の作業環境の向上のため、漁港の外郭施設、係留施設、水域施設及び用地を整備する。					対象	埴生漁港		
						手段	漁港施設の整備		
						意図	水産業の生産基盤の整備を図る。		

事業期間		R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)	
支出内訳		消耗品費	5千円		消耗品費	57千円		消耗品費	48千円		工事請負費	20,000千円
		燃料費	72千円		燃料費	65千円		燃料費	75千円		機械器具借上料	260千円
		保険料	16千円		保険料	16千円		保険料	16千円		システム利用料	125千円
		機械器具借上料	321千円		機械器具借上料	198千円		機械器具借上料	198千円		燃料費	79千円
		工事請負費	25,001千円		システム利用料	123千円		システム利用料	125千円		消耗品費	72千円
					工事請負費	22,876千円		工事請負費(R4繰)	7,125千円		保険料	16千円
	合 計		25,415千円			23,335千円			7,587千円			20,552千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金											
	県支出金	0.8	20,000千円		0.8	18,300千円		0.8	5,700千円		0.8	16,000千円
	地方債	公共事業債(90%)	4,500千円		公共事業債(90%)	4,200千円		公共事業債(90%)	1,283千円		公共事業債(90%)	3,600千円
	その他											
	一般財源		915千円			835千円			604千円			952千円
	合 計		25,415千円			23,335千円			7,587千円			20,552千円
人工数	人件費	0.45人	2,388千円		0.50人	2,539千円		0.40人	1,922千円			
総経費			27,803千円			25,874千円			9,509千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	事業の進捗率	成果		85	89	93	96
				80	82	83	
				0.94%	0.92%	0.89%	
2							
3							

成果	令和5年度にて埴生漁港西護岸を整備したことにより外郭施設については完了した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	漁港外郭施設については完了したため漁港内用地整備に着手していくが、漁業者の意向を確認した上で浚渫土等の撤去を進めていく必要がある。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

219

課・局・室・所(係)

農林水産課

水産係

事務事業番号

224020603

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	6	漁港整備事業	3	護岸等補修事業					政策的
	市内4漁港は築造後年数が経過し、老朽化が激しい。定期的・計画的に補修工事を行うことで、施設の長寿命化及び改修に係るコストダウンを図る。					対象	市内の4漁港		
						手段	老朽箇所の補修工事、修繕		
						意図	安全性の向上、機能維持		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	補修工事費	990千円		ゲート修繕料(浜五挺唐樋)	83千円		工事請負費	990千円		
				補修工事費	990千円					
合 計		990千円			1,073千円			990千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	公共施設等適正管理推進事業債		公共施設等適正管理推進事業債			公共施設等適正管理推進事業債			
	地方債	事業費×90%	891千円	事業費×90%	891千円		事業費×90%	891千円		
	その他									
	一般財源		99千円		182千円			99千円		
合 計		990千円			1,073千円			990千円		
人工数 人件費	0.25人	1,228千円		0.30人	1,392千円		0.30人	1,340千円		
総経費		2,218千円			2,465千円			2,330千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	補修工事	活動		1	1	1	
				1	1	1	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2	ゲート修繕	活動			1		
					1		
					1		
3							

成果	刈屋漁港A防波堤補修を実施した。計画範囲においては完了となった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	刈屋漁港A防波堤の補修計画範囲については完了となったため事業完了となったが、他の護岸についても点検を実施し、必要に応じて今後の補修を検討していかなければならない。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	休廃止	コスト	皆減	⑦
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

220

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224040101

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		4	地域ブランドの推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	農産物ブランド化推進事業	1	圏域内道の駅等連携農林水産物販路拡大プロジェクト					政策的	
事業概要	圏域内にある道の駅等の施設に連携市町の特産品コーナーを設置するとともに各施設で行うイベントの情報提供や広報誌等の配布により、圏内農林水産物の積極的なPR活動を展開し、圏域内での新たな販路の確保・拡大に取り組む。					対象	消費者			
						手段	農村魅力創出プロジェクトによる事業運営			
						意図	販路の確保・拡大			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	負担金			負担金	50千円		負担金	50千円		負担金 50千円
合 計						50千円			50千円	50千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源				50千円			50千円		50千円
合 計						50千円			50千円	50千円
人工数 人件費	0.01人		58千円	0.05人		287千円	0.01人		58千円	
総経費			58千円			337千円			108千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	イベント開催件数	活動		1件	1件	1件	-
				0件	1件	2件	
				0.00%	100.00%	200.00%	
2	パンフレット作成	成果		-	-	-	-
3							

成果	ナナシマチスタンプラリーに2事業者がスポット登録し、賞品を提供することで市内特産物のPRを行うことができた。 また、秋にマルシェが開催され、市内農家も出展したことで、市内農産物等のPRを行うことができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	ナナシマチのイベントについて、市内事業者・農家へ周知し市内農産物のPRを行う。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

221

課・局・室・所(係)

シティセールス課

観光振興係

事務事業番号

225010102

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)					
	4	産業・観光			25	観光・交流の振興		1	観光・交流資源の整備・充実			
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	1	観光交流資源整備事業			2	きらら交流館再整備事業			3－(1)			政策的
事業概要	宿泊研修施設きらら交流館の再整備にあたり、令和2・3年度に実施した基本計画策定及びPPP/PFI導入可能性調査業務の結果、「公設+指定管理方式」が最適であるとの結論になった。また、同計画において、リニューアルオープン後の指定管理者を候補者として先行公募することとし、令和5年9月に富士商株式会社を指定管理候補者として選定した。同年12月には、基本設計及び実施設計を一括発注としたプロポーザルを実施し、設計事業者として株式会社NSP設計と契約を行い、令和6年度末までの設計完了を目指す。令和7年度から改修工事に入り、令和9年1月のリニューアルオープンを目指す。							対象	きらら交流館			
								手段	施設の改修及び周辺施設との連携			
								意図	交流人口の増加			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)		
支出内訳		(債務負担)				(繰越明許)			設計委託料	43,189千円
		調査委託料	7,500千円			報償金	12千円		手数料	1,245千円
						アドバイザー業務委託料	12,709千円			
						報償金	8千円			
						測量調査委託料	343千円			
						設計委託料	18,400千円			
	合計		7,500千円				31,472千円			44,434千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	地方創生推進交付金(1/2)	3,750千円				千円			
	県支出金						千円			
	地方債					75%	5,700千円	75%		14,400千円
	その他					まちづくり魅力基金	10,667千円	まちづくり魅力基金		25,144千円
	一般財源		3,750千円				15,105千円			4,890千円
	合計		7,500千円				31,472千円			44,434千円
人工数	人件費	0.30人	1,740千円	1.13人	6,478千円	0.74人	4,311千円			
総経費			9,240千円		6,478千円		35,783千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	施設のあり方の検討・決定	活動	基本計画策定・導入可能性調査			
			策定・調査完了			
			100.00%			
2	指定管理候補者の選定	活動		指定管理候補者選定	指定管理候補者選定	
				募集要項作成中	選定完了	
				80.00%	100.00%	
3	基本設計・実施設計の着手・完了	活動			基本設計着手	基本設計・実施設計完了
					着手完了	
					100.00%	

成果	前年度より繰越となっていたリニューアルオープン後の指定管理候補者の選定について、令和5年9月に富士商株式会社を指定管理候補者として選定し、完了させた。また、同年12月に基本設計及び実施設計を一括発注としたプロポーザルを実施し、株式会社NSP設計と設計業務の契約を行った。当該設計書の完成に向けて、市、設計業者及び指定管理候補者とともに設計内容を協議を行い、令和6年度末までの設計完了を目指す。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和7年度は、改修工事を行う請負業者を選定し、改修工事に取り掛かる計画としているが、リニューアルオープンを予定している令和9年1月に間に合わせるため、改修工事に係る請負業者をできるだけ早期に選定する必要がある。工事業者の選定に係る事務作業を行う、建築住宅課、下水道課と綿密な連携をとりながら、業務を遂行していく必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート				222	課・局・室・所(係)	シティセールス課	観光振興係	事務事業番号	225010202		
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光			25	観光・交流の振興		1	観光・交流資源の整備・充実		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	広域観光振興事業			2	山口県央連携都市圏域事業					
事業概要	山口県央連携都市圏域を構成する7市町(本市、山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、津和野町)において、令和4年度からの第2期ビジョンとして、圏域住民が誇りを持てる地域づくりと、おもてなしあふれる観光地づくりを一体的に行う「観光地域づくり」の推進を図った。具体的には、「圏域版マイクロツーリズム」の推進として、山口県7エリア周遊「リアル宝探し」や圏域周遊促進事業「キッズサマーパス」イベント、「食の回廊」周遊促進事業等を実施し、「観光地域づくり」の推進として、着地型観光の連携体制の構築・強化を図った。					対象	市内・市外の人				
						手段	広域観光資源創出プロジェクトによる事業運営				
						意図	交流人口の増加				

事業期間	R4 年度		～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳		山口県央連携都市	1,459千円	山口県央連携都市	733千円	山口ゆめ回廊	780千円	山口ゆめ回廊	1,064千円
		圏域事業負担金		圏域事業負担金		観光誘客事業負担金		観光誘客事業負担金	
		消耗品費	144千円	消耗品費	100千円	普通旅費	86千円	普通旅費	360千円
				山口ゆめ回廊	730千円	消耗品費	64千円	消耗品費	100千円
				圏域住民周遊促進事業負担金		山口ゆめ回廊		山口ゆめ回廊	780千円
						圏域住民周遊促進事業負担金	645千円	圏域住民周遊促進事業負担金	
合計		1,603千円		1,563千円		1,575千円		2,304千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金	地方創生推進	729千円	地方創生推進	1,095千円	デジ田	712千円	デジ田	972千円
	県支出金	交付金		交付金					
	地方債			新型コロナウイルス感染症対応					
	その他			地方創生臨時交付金					
	一般財源	874千円		468千円		863千円		1,332千円	
	合計	1,603千円		1,563千円		1,575千円		2,304千円	
人工数	人件費	0.32人	1,168千円	0.41人	1,695千円	0.56人	2,319千円		
総経費		2,771千円		3,258千円		3,894千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	市の観光客数	成果		1,150,000人	1,160,000人	1,170,000人	1,180,000人
				816,325人	924,324人	1,055,569人	
				70.98%	79.68%	90.22%	
2							
3							

成果	圏域内における広域的な観光PRの実施や「圏域版マイクロツーリズム」の取組により、観光客の圏域への周遊を促し、本市における観光客数の回復に貢献することができた。圏域周遊促進事業「キッズサマーパス」イベントの対象施設とした「きららガラス未来館」では、夏休み期間におけるガラス制作の体験者数が、昨年度に引き続き、大幅に増加した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	自治体間の連携に加え、圏域内の事業者・団体等との連携体制を強化することを目的とし、プラットフォームを構築したが、上手く活用できていない。 今後は、官民一体となり、圏域における「観光地域づくり」の推進を図るために、体制の見直しが必要である。					
目標達成度	R7年度に向けた方向性					
	B	成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項	「山口県央連携レノファ山口応援事業」と統合					

R5年度 事務事業評価シート

223

課・局・室・所(係)

シティセールス課

観光振興係

事務事業番号

225010301

大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
施策体系	4	産業・観光		25	観光・交流の振興		1	観光・交流資源の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	3	山陽小野田名産品活用推進事業		1	山陽小野田名産品活用促進事業					政策的
事業概要	山陽小野田観光協会に補助金を交付し、同協会内に設置している山陽小野田名産品推進協議会を通じ、名産品フェアの開催や関西山口県同郷会での広報宣伝活動を行い、名産品の認知度向上及び販路拡大を図った。 また、令和5年度は、東京都内「おいでませ山口館」での観光PR及び名産品の販売を行い、本市の認知度向上及び誘客促進を図る取組も実施した。 新たに工芸品及び菓子類の2品目が名産品として認定された。					対象	山陽小野田観光協会			
						手段	事業活動に対する補助金交付			
						意図	名産品の認知度向上及び販路拡大			

事業期間		R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳		山陽小野田	151千円	山陽小野田	151千円	山陽小野田	151千円	山陽小野田観光協会補助金	451千円		
		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金					
	合 計		151千円		151千円		151千円				451千円
財源内訳／割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	ふるさと支援基金	151千円	ふるさと支援基金	151千円	ふるさと支援基金	151千円	ふるさと支援基金	451千円		
	一般財源		千円								
	合 計		151千円		151千円		151千円				451千円
人工数 人件費		0.20人	816千円	0.23人	991千円	0.20人	851千円				
総経費			967千円		1,142千円		1,002千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	物産フェア等への出店、PR回数	活動	10回	10回	10回	10回
			3回	3回	7回	
			30.00%	30.00%	70.00%	
2	山陽小野田名産品認定数	成果	40品	40品	40品	40品
			37品	39品	36品	
			93%	97.5%	90.00%	
3						

成果	やまぐち名産品フェアでは、名産品認定事業者のうち、15社による販売を行い、3日間で約270万円の売上額となり、名産品のPR及び販路拡大に繋げることができた。これに加えて、初の試みとして、東京都内「おいでませ山口館」において、名産品認定事業者のうち、15社の商品を販売し、首都圏での名産品等のPRを実施し、販路拡大を図った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後は、事業者の意向も踏まえ、名産品の認知度向上及び県内外における販路拡大に繋がるよう、より効果的な取組を打ち出していく必要がある。					
目標達成度	B	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート				224	課・局・室・所(係)	シティセールス課	観光振興係	事務事業番号	225020202	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	4	産業・観光			25	観光・交流の振興		2	情報発信・誘客体制の強化・充実	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	観光振興事業		2	観光プロモーション事業			3－(1)		
事業概要	観光パンフレット「スマイルスポット」を20,000部増刷し、公共施設、市内外観光事業所、公共交通機関のほか、各種イベント等で配布し、認知度向上及び市内の周遊促進を図った。 また、昨年度に引き続き、山陽小野田観光協会に補助金を交付し、協会インスタグラムを活用した「フォトコンテスト」を実施し、本市の認知度を高めるとともに、観光誘客の促進を図った。					対象	市外・県外の人			
						手段	観光パンフレット「スマイル・スポット」の配布、キャンペーンの実施			
						意図	本市の認知度向上、交流人口の増加			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	印刷製本費	968千円		山陽小野田	495千円		印刷製本費	1,155千円	山陽小野田	600千円
				観光協会補助金			山陽小野田		観光協会補助金	
							観光協会補助金	484千円		
合計		968千円			495千円			1,639千円		600千円
財源内訳／割合	国庫支出金			地方創生	247千円		デジ田	242千円	デジ田	300千円
	県支出金			推進交付金						
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	968千円				ふるさと支援基金	1,155千円		
	一般財源				248千円			242千円		300千円
	合計		968千円		495千円			1,639千円		600千円
人工数	人件費	0.05人	289千円	0.15人	532千円		0.20人	851千円		
総経費		1,257千円			1,027千円			2,490千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	パンフレット制作 (日本語・外国語4種類)	活動		2万部(日本語)		2万部(日本語)	
				2万部(日本語)		2万部(日本語)	
				100.00%		100.00%	
2	観光協会のInstagram公式アカウントのフォロワー数	成果		700人	1,500人	2,000人	3,000人
				1,508人	2,494人	3,231人	
				215%	166.27%	161.55%	
3							

成果	観光パンフレット「スマイルスポット」を20,000部増刷し、公共施設、市内外観光事業所、公共交通機関のほか、各種イベント等で配布し、認知度向上及び市内の周遊促進を図った。フォトコンテストでは、約800枚の写真投稿があり、盛況であったことから、本市の効果的なPRを行うことができた。また、約380名の新規フォロワーを獲得することができたことから、今後のInstagramを活用した情報発信の強化を図ることができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	認知度向上及び観光誘客の促進を図ることに加え、観光消費額の増加につながる取組を検討する必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート				225	課・局・室・所(係)	シティセールス課	観光振興係	事務事業番号	225020205	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	4	産業・観光			25	観光・交流の振興		2	情報発信・誘客体制の強化・充実	
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	観光振興事業			5	ゴルフ場PR事業			3－(1)	
事業概要	当該事業では、本市における観光資源の1つである「ゴルフ場」にスポットを当て、本市を「ゴルフのまち」としてPRすることにより、本市の認知度向上及び誘客促進を図ることを目的とする。 令和5年度は、市内6か所のゴルフ場の特色が分かるパンフレット10,000部を作成した。各ゴルフ場の魅力を写真や動画で紹介するほか、市内宿泊施設、グルメ・お土産情報、観光スポットの情報などと内容の充実を図り、ゴルフ場を拠点とし、市内周遊を促すことができるものとした。					対象	市外・県外の人			
						手段	紙媒体(パンフレット)の制作及び配布により市内6か所のゴルフ場への誘客促進を行う			
						意図	観光客数の増加			

事業期間	R5	年度	～	R10以降	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳							報償金	8千円	パンフレット制作	1,000千円
							パンフレット制作	990千円	業務委託料	
							業務委託料			
合計								998千円		1,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金						デジ田	495千円	デジ田	500千円
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							503千円		500千円
	合計							998千円		1,000千円
人工数	人件費						0.25人	1,142千円		
総経費								2,140千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	ゴルフ場利用者数	成果				270,125人	281,000人
						280,162人	
						103.38%	
2							
3							

成果	各場におけるコースの特色、レストランや入浴設備など、ゴルフ場利用者の関心がある施設情報に加え、ゴルフ場のドローン空撮、飲食店や宿泊施設、観光スポットにおける観光情報の充実を図り、魅力的なパンフレットを制作することができた。 しかしながら、仕様書の見直し等に時間を要したことから、パンフレットの配布に至ることができなかった。					
R7年度に向けた課題及び改善策	今後については、ゴルフ場事業者と協議を行い、ゴルフ場の利用促進及び市内への観光誘客の促進につなげる取組を検討する必要がある。					
目標達成度	R7年度に向けた方向性					
	B	成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

226

課・局・室・所(係)

シティセールス課

観光振興係

事務事業番号

225020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
	3	観光推進組織支援事業	2	観光誘客宣伝事業			政策的
事業概要	山陽小野田観光協会の情報発信経費について補助金を交付し、観光協会ホームページやSNS(フェイスブック、インスタグラム等)、山口県住みます芸人「どさけん」さんを活用した観光情報の発信や、県外イベントや旅行会社への売り込みに参加することに加え、観光パンフレットやノベルティグッズを作成し、イベント参加者に対し配布することで本市の観光資源の認知度向上を図り、交流人口の増加に繋げた。				対象	山陽小野田観光協会	
					手段	事業活動に対する補助金交付	
					意図	交流人口の増大による観光振興の推進	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	山陽小野田	357千円		山陽小野田	357千円		山陽小野田	657千円		山陽小野田観光協会補助金
	観光協会補助金			観光協会補助金			観光協会補助金			
合計		357千円			357千円			657千円		600千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	357千円	ふるさと支援基金	357千円		ふるさと支援基金	657千円		ふるさと支援基金
	一般財源									
合計		357千円			357千円			657千円		600千円
人工数 人件費	0.12人	523千円		0.09人	352千円		0.13人	443千円		
総経費		880千円			709千円			1,100千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	市の観光客数	成果	1,150,000人	1,160,000人	1,170,000人	1,180,000人
			816,325人	924,324人	1,055,569人	
			70.98%	79.70%	90.22%	
2	山陽小野田観光協会ホームページ、SNSのビュー数	成果	130,000ビュー	180,000ビュー	320,000ビュー	335,000ビュー
			243,438ビュー	336,108ビュー	504,025人	
			187.26%	186.70%	157.51%	
3						

成果	観光協会ホームページやSNS(フェイスブック、インスタグラム)、山口県住みます芸人「どさけん」さんを活用した観光情報の発信のほか、今年度は「スマイルウェーブ」を活用した観光PRにより、本市の観光資源の認知度向上及び誘客誘客を図った。また、県外における観光PRイベントにも複数回参加し、観光プロモーション及び名産品のPRを実施した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	若い世代の情報ツールであるインスタグラムでの情報発信に力を入れ、インスタグラムから協会ホームページへの閲覧を促し、市内の観光スポットや飲食店等を広く周知することで、情報発信を強化していく必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

227

課・局・室・所(係)

シティセールス課

観光振興係

事務事業番号

225020304

10年度 事務事業計画										
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光		25	観光・交流の振興		2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	観光推進組織支援事業		4	観光ボランティアガイド活動支援事業				交流	政策的
事業概要	山陽小野田観光協会において、観光ガイド団体が実施する事業に対し、助成金を交付し、活動を支援した。 ガイド派遣事業では、他市町とのガイド料の均衡を図るため、ツアーを受け入れた場合のガイド料の一部を補助した。 ガイド育成事業では、研修会の開催に要する事業費の一部を補助することで、観光客等へのホスピタリティ向上を図った。						対象	山陽小野田観光協会		
							手段	事業活動に対する補助金交付		
							意図	観光客へのホスピタリティの向上		

事業期間		R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳		山陽小野田	29千円	山陽小野田	33千円	山陽小野田	56千円	山陽小野田観光協会補助金	100千円		
		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金					
	合 計		29千円		33千円		56千円				100千円
財源内訳／割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	ふるさと支援基金	29千円	ふるさと支援基金	33千円	ふるさと支援基金	56千円	ふるさと支援基金	100千円		
	一般財源									千円	
	合 計		29千円		33千円		56千円				100千円
人工数 人件費		0.05人	119千円	0.06人	180千円	0.06人	192千円				
総経費			148千円		213千円		248千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	観光ガイド派遣件数	成果	20回	20回	20回	20回
			4回	11回	12回	
			20.00%	55.00%	60.00%	
2	観光ガイド育成研修会	活動	2回	2回	2回	2回
			5回	0回	1回	
			250.00%	0.00%	50.00%	
3						

成果	ガイドツアーでは、観光客のほか、出版社等を対象にセメントの歴史や文化、厚狭の街並みなどと本市の魅力を 知ってもらい、PRを行うことができた。					
R7年度に向けた 課題及び改善策	観光ガイド派遣事業の認知度は、ほぼ皆無のため、観光協会ホームページ等を活用し、当該事業の周知を行 い、ガイド利用者を増やし、交流人口の増加を図っていく必要がある。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R5年度 事務事業評価シート

228

課・局・室・所(係)

シティセールス課

観光振興係

事務事業番号

225020305

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	4	産業・観光				25	観光・交流の振興			2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名				事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	3	観光推進組織支援事業				5	ゆめ散歩プログラム持続的実施事業						政策的
事業概要	山陽小野田観光協会へ補助金を交付し、令和3年度の山口県央連携都市圏域(7市町)周遊型イベント「山口ゆめ回廊博覧会」で造成した「山陽小野田市主体事業」のうち、「ゆめ散歩造成事業(2プログラム)」を同観光協会の主催事業として実施し、交流人口の増加を図った。								対象	山陽小野田観光協会			
									手段	事業活動に対する補助金交付			
									意図	交流人口の増大による観光振興の推進			

事業期間		R4	年度	～	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳					山陽小野田	328千円	山陽小野田	9千円	山陽小野田観光協会補助金	98千円	
					観光協会補助金		観光協会補助金				
	合 計					328千円		9千円		98千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金				地方創生	163千円	デジ田	4千円	デジ田	49千円	
	県支出金				推進交付金						
	地方債										
	その他										
	一般財源					165千円		5千円		49千円	
	合 計					328千円		9千円		98千円	
	人工数	人件費	0.00人	千円	0.29人	1,007千円	0.25人	828千円			
総経費						1,335千円		837千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	イベント(体験型プログラム及び地域資源活用事業)の実施	成果		11回	4回	4回
				11回	1回	
				100.00%	25.00%	
2	イベント参加人数	成果		118人	36人	36人
				107人	7人	
				90.68%	19.44%	
3	市の観光客数	成果	1,150,000人	1,160,000人	1,170,000人	1,180,000人
			816,325人	924,324人	1,055,569人	
			70.98%	79.68%	90.22%	

成果	ガラスや竜王山などの本市の地域資源を活かした2プログラム(延べ4回)のツアーを造成したが、催行人員に達しなかったため、1プログラム(「竜王山ネイチャーツアー」)のみの催行となった。参加者からは、現地で多数のアサギマダラが確認できたことに加え、ツアーガイドの案内についても好評をいただき、来年も訪れたいとの意見が多数あった。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	D	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						